

ダイヤモンド就活ナビ2019 就職モニターレポート5月調査

【調査概要】

- ◆調査対象 2019年3月卒業予定の大学院・大学 学生
- ◆有効回答 264名
- ◆調査期間 2018年5月10日（木）～2018年5月17日（木）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

【回答学生の内訳】

| | | | |
|----|-----------------|----|----------------|
| 文系 | 185名 (70.1%) | 理系 | 79名 (29.9%) |
|----|-----------------|----|----------------|

【大学エリア別回答学生数】

| | | |
|----------|------|-------|
| 北海道 | 17名 | 6.4% |
| 東北エリア | 5名 | 1.9% |
| 関東エリア | 146名 | 55.3% |
| 甲信越エリア | 7名 | 2.7% |
| 東海・北陸エリア | 14名 | 5.3% |
| 関西エリア | 53名 | 20.1% |
| 中国・四国エリア | 19名 | 7.2% |
| 九州・沖縄エリア | 3名 | 1.1% |

【回答の多かった学生】

明治大学、中央大学、慶応義塾大学、
日本大学、専修大学、早稲田大学、
関西学院大学、明治学院大学、
立教大学、國學院大学、神戸大学、
大阪大学、上智大学、東京外国語大学

◆TOPICS◆

<就職活動の進行状況>

「役員・最終面接」29.4%、「内定獲得」24.2%。前月から2倍弱伸ばす。
平均内定社数は1.8社。積極的な活動姿勢がうかがえる。
エントリーは絞り込みつつ、早いスピードで選考が進んでいる様子。
「リクルーターとの接触あり」と回答したのは29.5%。

<企業選択の基準>

企業の規模 : 「絶対大手」「できるだけ大手」が37.3%。
「やりがい・適性が合えば規模は不問」の35.4%を上回る。
企業の特徴 : 「仕事に魅力」(63.6%) 「社風がよい」(58.1%) が過半数超え。
働く環境にポイントを置いている傾向。

<就職活動観>

今抱える悩み(不安)は、1位「就職できるかどうか」2位「面接が通過できない」
就職活動について「苦戦するかもしれない」が39.5%でトップに。

【本調査に関するお問い合わせ】

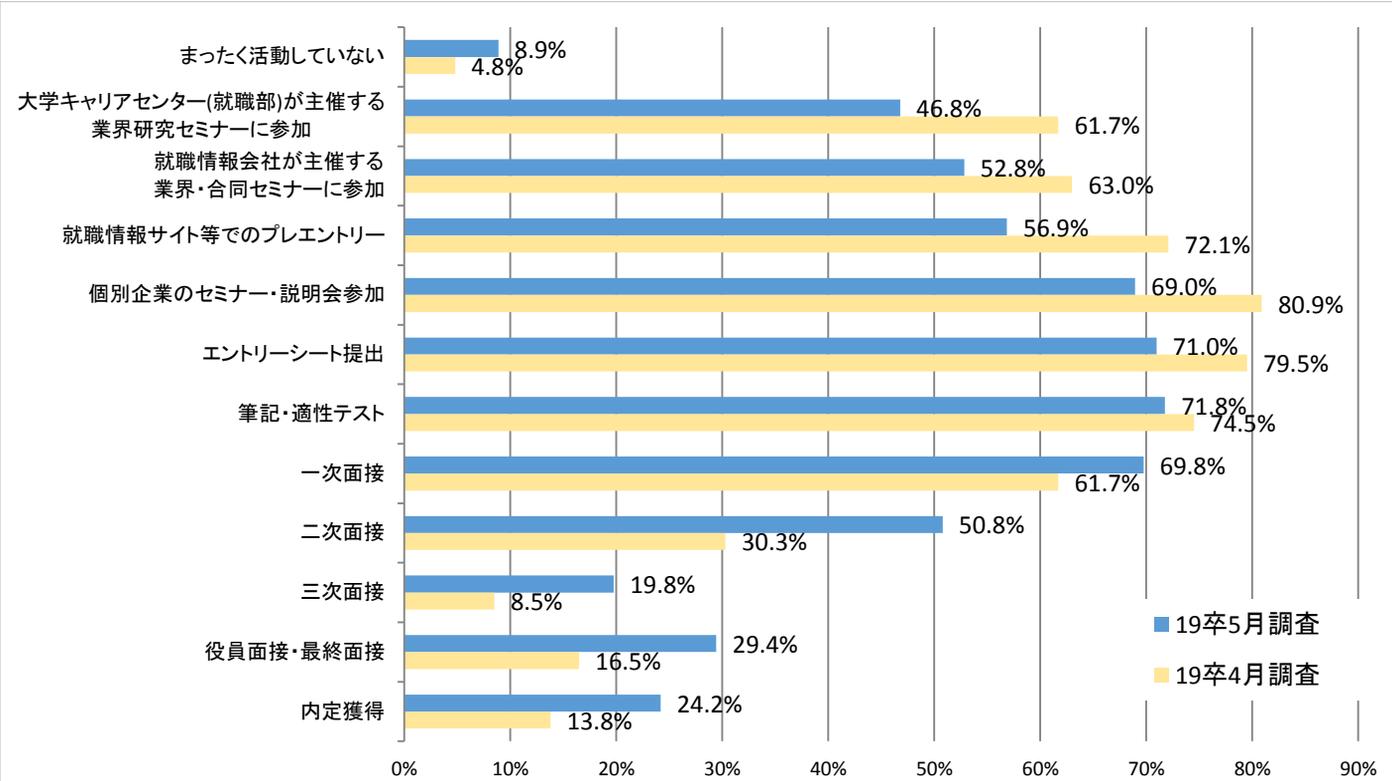


株式会社
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

営業局 首都圏営業部
TEL : 03-5319-2452
E-mail : marketing@diamondhr.co.jp

就職活動進行状況 (1)

◆【前月比較】現在の就活の進行状況で当てはまるものを全て選択してください

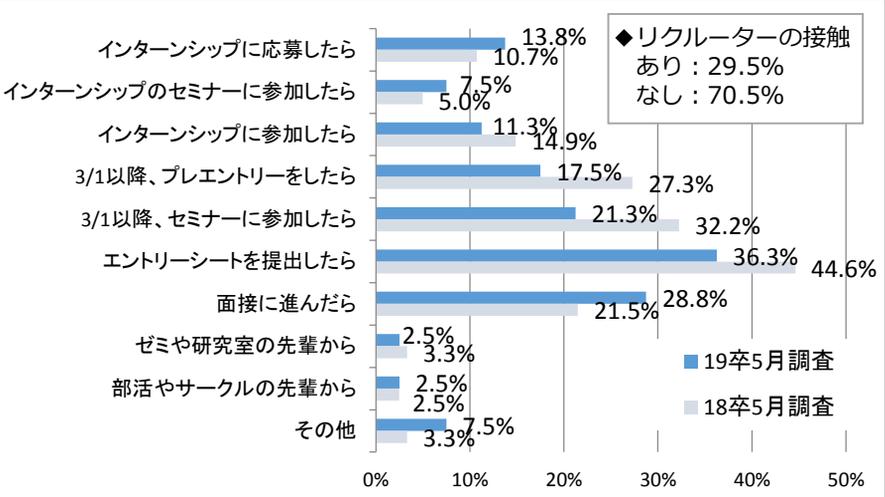


| 進行状況 | 19卒平均 | 18卒平均 |
|------------------|-------|-------|
| 大学キャリアセンター主催セミナー | 4.0回 | 4.9回 |
| 就職情報会社主催セミナー | 4.6回 | 4.2回 |
| プレエントリー | 34.8社 | 36.3社 |
| 個別企業のセミナー・説明会参加 | 14.6社 | 15.4社 |
| エントリーシート提出 | 14.0社 | 12.0社 |
| 筆記・適性テスト | 8.9社 | 8.1社 |
| 一次面接 | 5.9社 | 5.0社 |
| 二次面接 | 3.1社 | 2.7社 |
| 三次面接 | 1.6社 | 1.6社 |
| 役員面接・最終面接 | 1.9社 | 1.7社 |
| 内定獲得 | 1.8社 | 1.5社 |

「役員・最終面接」は29.4%、「内定獲得」は24.2%。
前月調査から2倍弱の伸び。
平均内定社数は1.8社。全体に前年を上回る結果に。

就職活動の進行状況は、セミナーへの参加やプレエントリーが前月よりも減少、選考フェーズが大きく伸びる結果となった。特に「一次面接」は69.8%、「二次面接」は50.8%と過半数を超える結果となった。「役員・最終面接」は29.4%、「内定獲得」は24.2%となり、企業・学生共に積極的な活動状況がうかがえる。
平均社数を見ると「内定獲得」は1.8社の結果となった。「エントリーシートの提出」以降のフェーズで、前年を上回っている。

◆リクルーターとの接触状況

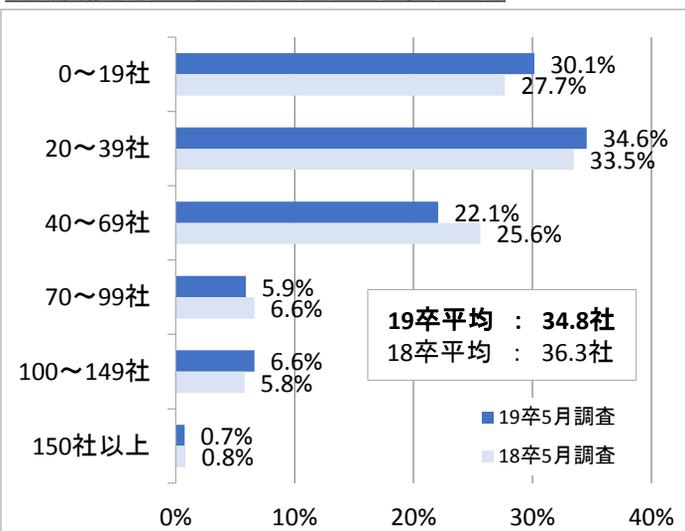


29.5%の学生が「リクルーターとの接触あり」と回答。
「エントリーシート提出後」の接触機会が多い。

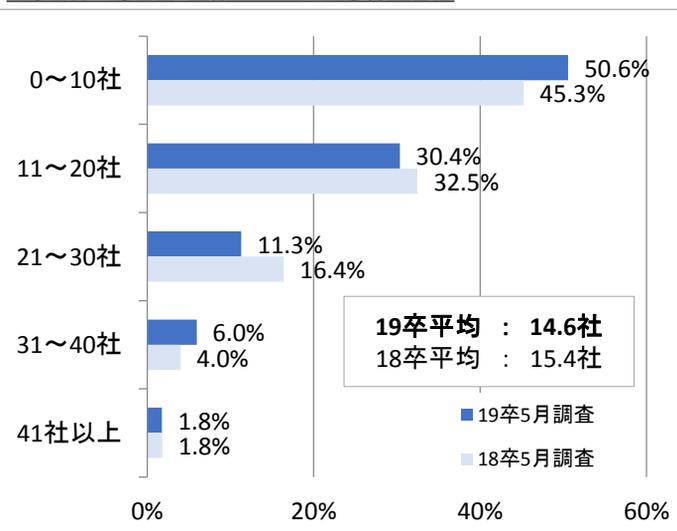
リクルーターから接触があった学生は29.5%と、約3人に1人がリクルーターと接している結果となった。
連絡が来た経緯は「エントリーシートを提出したら」が36.3%でトップ。「面接に進んだら」が28.8%と昨年より7.3ポイント伸ばして次点につけた。

就職活動進行状況 (2)

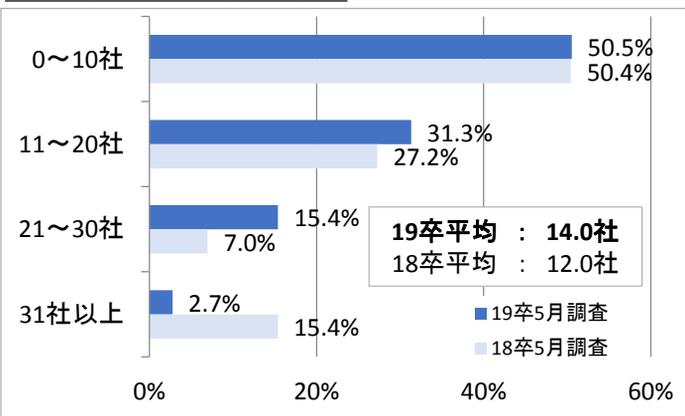
◆就職情報サイト等でのプレエントリー数



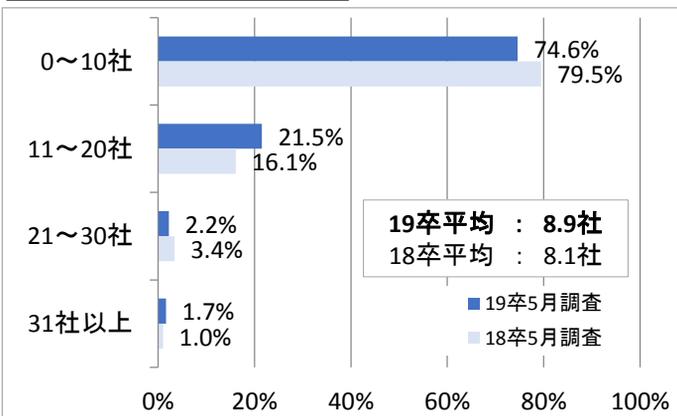
◆個別企業のセミナー・説明会参加数



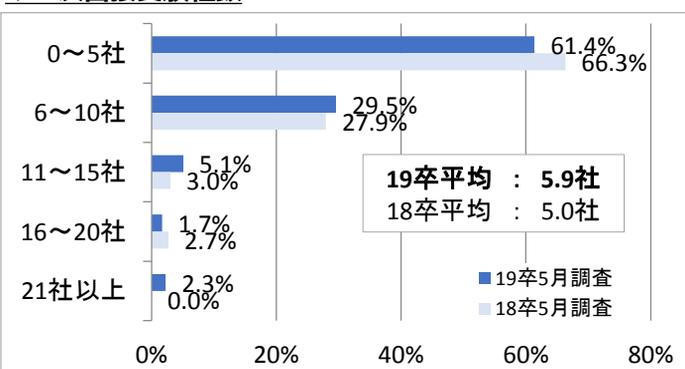
◆エントリーシート提出社数



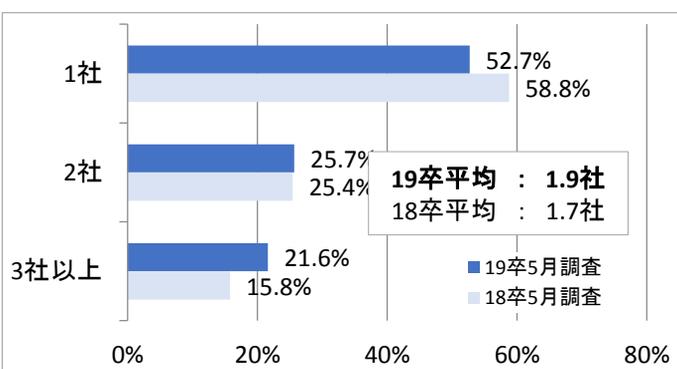
◆筆記・適性テスト受験社数



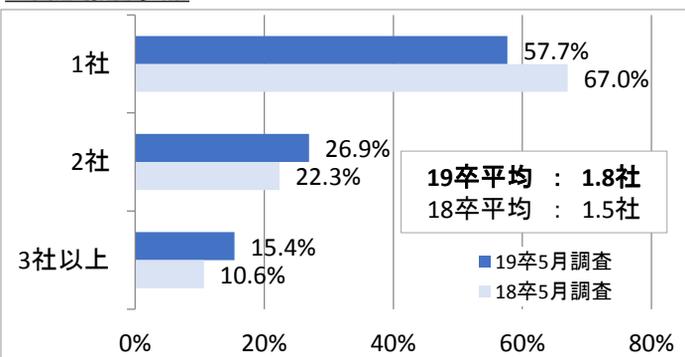
◆一次面接受験社数



◆役員面接・最終面接受験社数



◆内定獲得社数



**平均エントリー数は34.8社と前年比▲1.5社。
42.3%が複数内定を獲得している状況。**

学生一人当たりのエントリー社数は34.8社となった。表にはないが、17卒5月平均：42.1社→18卒5月平均：36.3社→19卒5月平均：34.8社と、減少傾向にある。

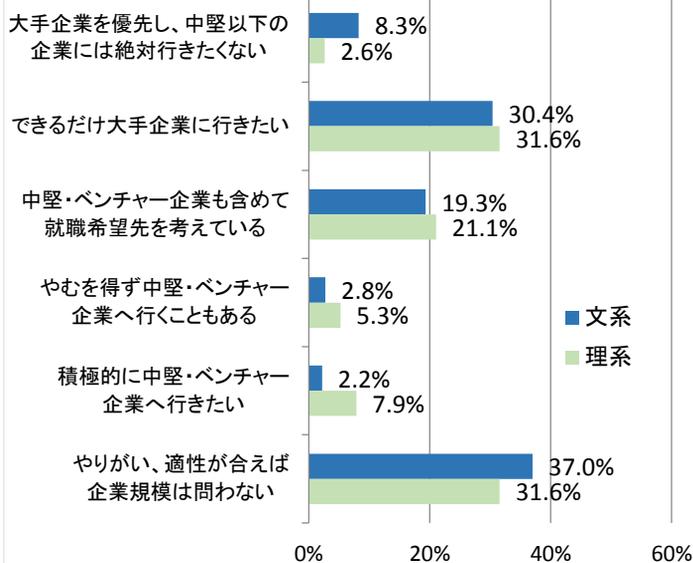
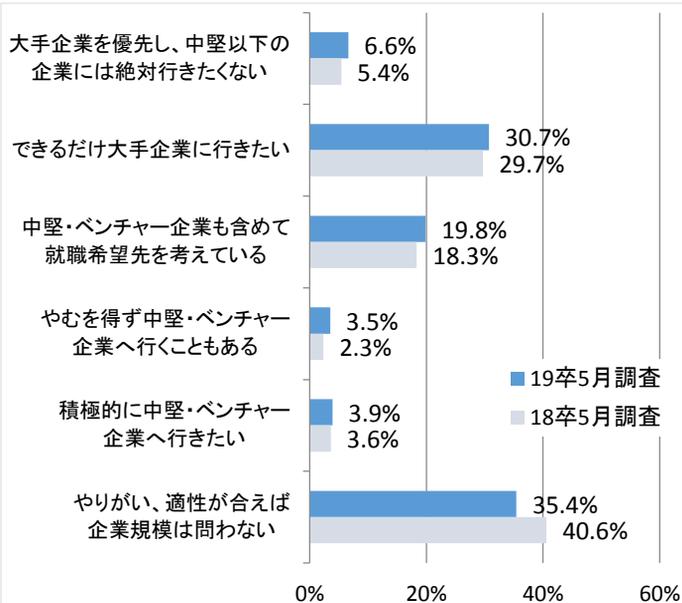
反面、エントリーシートの提出社数以降のフェーズではいずれも前年5月調査時の平均を上回る結果となった。

「内定獲得」は平均1.8社、2社以上の複数内定獲得は42.3%の過半数に迫る結果だ。6月以降の動向を見守りたい。

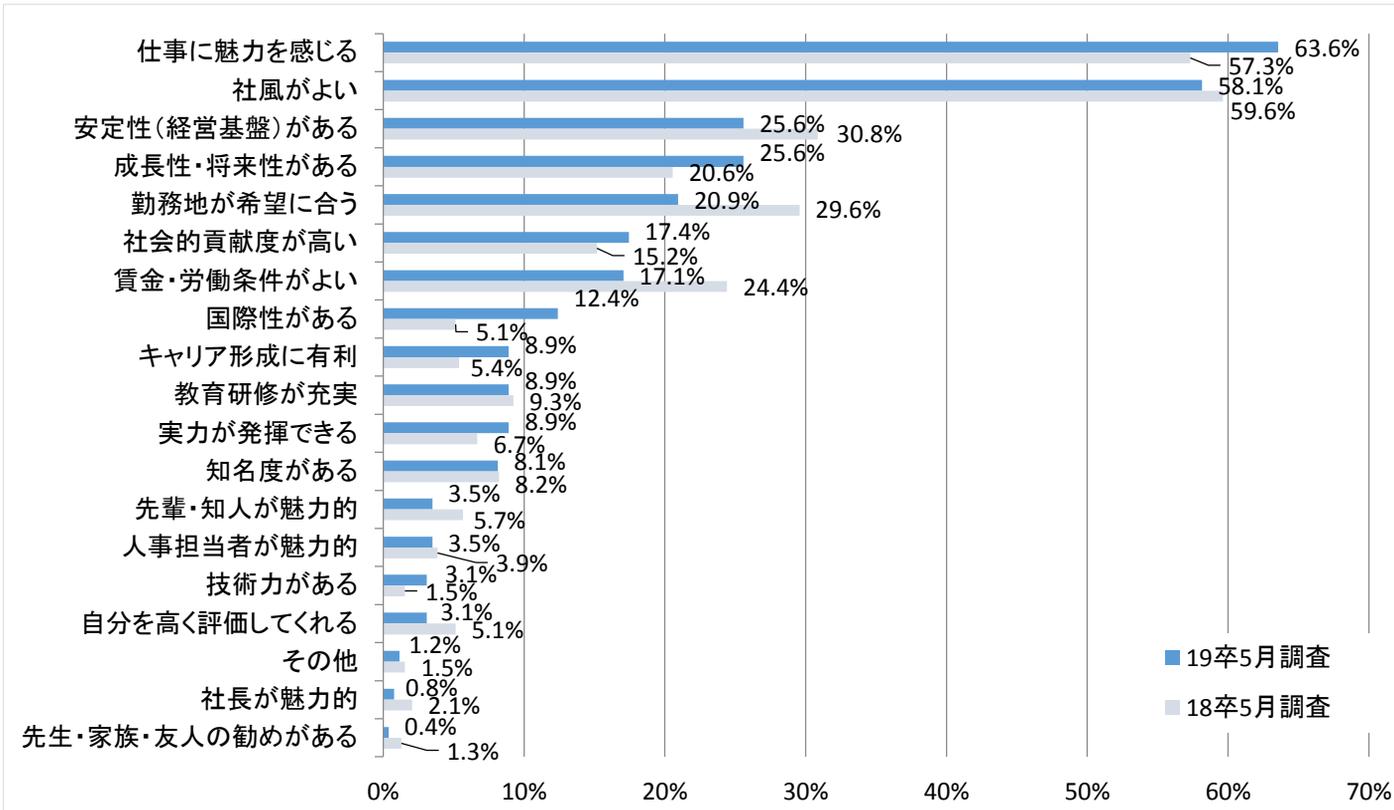
企業選択の基準

◆企業規模について選択基準を教えてください

(文理別)



◆企業の特徴について選択の具体的なポイントを教えてください (3つまで)



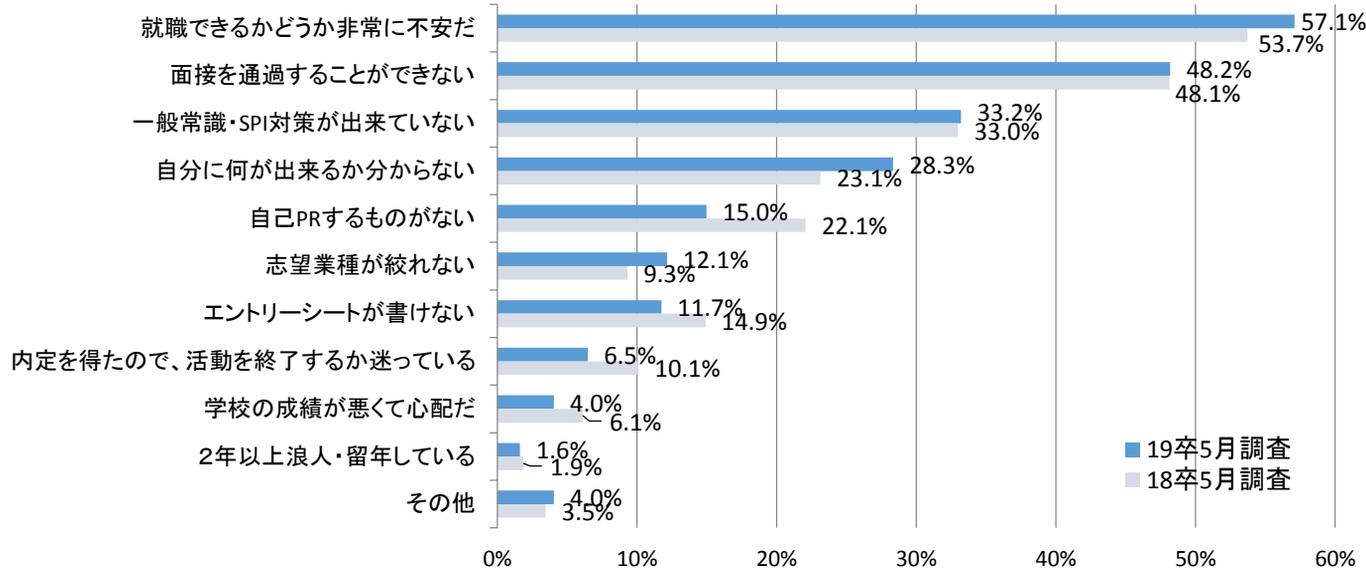
企業規模について、選択基準のトップは「やりがい、適性が合えば規模は不問」(35.4%)。企業の特徴では「仕事に魅力を感じる」(63.6%)、「社風がよい」(58.1%)、が圧倒的。

企業規模の選択基準について、「やりがい、適性が合えば規模は問わない」が35.4%とトップになったが、昨年同時期調査より5.2ポイント減少した。「絶対大手」「できるだけ大手」を合わせると37.3%となり、「やりがい、適性が合えば規模は不問」を若干上回っている。

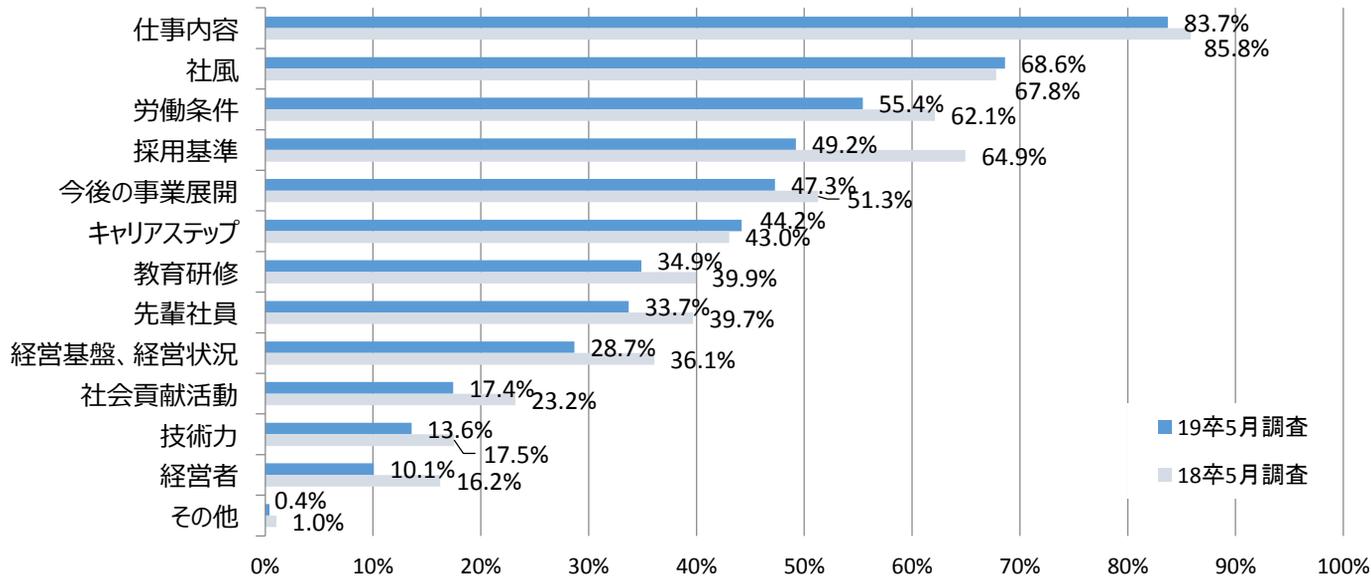
企業の特徴について、選択の具体的なポイントは「仕事に魅力を感じる」(63.6%)「社風がよい」(58.1%)の2つが過半数を超え、その他の項目を大きく引き離している。この2項目は選択時には外せない項目といえる。次いで「安定性(経営基盤)がある」「成長性・将来性がある」(いずれも25.6%)、「勤務地が希望に合う」(20.9%)が続いた。

就職活動観

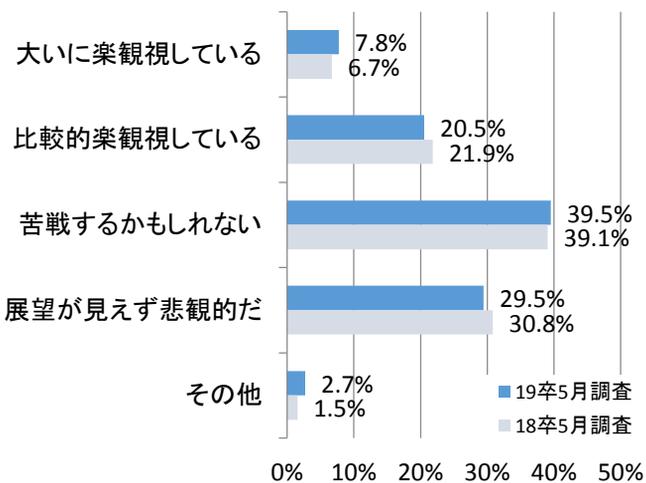
◆今、抱えている悩み(不安)は何ですか？(複数回答)



◆企業や仕事について、具体的に知りたい情報を全て選択してください



◆今年の就職環境について、どのような感想をお持ちですか？



悩みの1位は「就職できるか不安」、2位は「面接を通過できない」。就職環境については「苦戦するかもしれない」が39.5%でトップに。

今抱えている悩み(不安)のトップは「就職できるかどうか不安」で57.1%の結果となった。前年より3.4ポイント伸ばしている。「面接を通過することができない」「一般常識・SPI対策ができていない」は前年並みの結果だ。

環境については「苦戦するかもしれない」が39.5%でトップ。こちらも前年と似た傾向がみられた。

具体的に知りたい情報は「仕事内容」が83.7%でトップ。半数を超えたのは、「社風」(68.6%)「労働条件」(55.4%)の3項目だった。